

令和4年度 事業報告

1. 概要（理事長：窪田 茂）

コロナパンデミック終息の兆しが見え始め、制限されていたリアルな活動が少しずつ再開でき始めました。令和5年の賀詞交歓会も3年振りのリアル開催となり、200人近い人が集まって頂き、皆様のJCDへの期待度の高さを感じました。

日本空間デザイン賞は、コロナの影響で応募作品数が少なかったですが、次年度には海外への宣伝も含めた対策を行い、作品数の増加を進めたいと考えています。

全国支部長会議が、コロナ禍でのオンラインミーティングから、北陸支部_富山でのリアル開催に伴い、支部間コミュニケーションが潤滑になってきており、JCDの結束が深まってきております。支部イベントへの正会員派遣にも、集客などの効果が認められ、支部の発展のきっかけづくりに貢献できる可能性が伺えました。

JCDの活動は、方々で評価されてきており、JAPAN SHOPやJAPAN HOME & BUILDING SHOWなどにもブースを用意して頂き、展示やトークイベントを開催し、新しいフォーマットが生まれ始め、継続した活動が行える体制づくりが必要な状況です。

トークイベントやシンポジウムなども、リアル開催が行えるようになってきております。

APSDAの活動については、JCDは少し距離を置いていく予定です。

2. 各事業の報告

(1) 事業部

(部長：大滝道晴)

■主な活動報告

1. [デザイン賞委員会]（日本空間デザイン賞）

○JCD側の集計委員長として担当、定例会、調整会議、贈賞式準備会議及び贈賞式等に出席いたしました。

2. [Soda委員会]

○定例会議、新規模型作成等に参加、参加。

○東京ミッドタウンキッズワークに参加。

○水元小学校プロジェクトに参加（DSAとのコラボワーク）

○同校「記念パンフの作成」（3月5日完成）関係各所に配布。

3. [賛助委員会]

○第16回目の「プロダクトオブザイヤー2022」の実施。

*表彰式は 2023年1月賀詞交換会で実施。

*パブリシティー掲載依頼及び『日経デザイン』の定期購読を行いました。

*盾、表彰状等の作成。

4. [広報委員会]

○新JCDパンフレット作成・調整の会議等に参加、サポート。

5. [空間委員会]

○KU/KAN 50周年式典参加。

6. [交流委員会]

○適時、会議等に参加及びアドバイス。

7. [J.S. JCD ブース委員会] (部付委員会)

適時、会議に参加。

*[全国支部長会議]

*アドバイザー的な立場で、会議参加。

① デザイン賞委員会 (委員長：笠原英里子)

「日本空間デザイン賞 2022」は3年ぶりにコロナ前の年間スケジュールに戻し、応募受付期間を4月1日～5月16日までとし、調整会議、審査方法(公開三次審査)、贈賞式等全体スケジュールを組んだ。応募総数はコロナの影響を大きく受け、昨年より減少の761作品となった。応募期間締切り後、まず6月1日～10日までWEBによる一次審査が行われた。90名の審査員が担当し、6月18日の調整会議を経てLong List327作品が選ばれた。その後6月23日～30日までWEBの二次審査が行われ34名の審査員で選出、7月9日に調整会議が行われShort List135作品が選ばれた。

三次・最終審査会は事前WEB審査が8月10日～24日に行われ、8月27日に乃村工藝社ホールで公開審査が開催され、審査の様子はLIVE配信された。審査員は10名で東利恵、Astrid Klein、上條昌宏、官浪辰夫、小坂竜、遠山正道、野老朝雄、山本尚美、湯澤幸子、渡邊康太郎、(敬称略、森井良幸はコロナのため欠席)そして審査委員長にDSA 鈴木重千代会長、審査副委員長にJCD 窪田茂理事長があたり審査の進行を務めた。この三次審査会において各カテゴリーの金賞、銀賞、銅賞そして非公開でKUKAN OF THE YEAR3作品が決定した。サステナブル空間賞では昨年同様持続可能性への考慮がなされた27作品を表彰した。

10月21日東京デザインセンターにおいて贈賞式が行われ、金、銀、銅賞の贈賞、KUKAN OF THE YEARの発表を行い、引き続きKUKAN OF THE YEAR受賞者によるトークイベントを行った。

またパートナーシップ契約を結ぶドイツの iF Design Award2022 には日本空間デザイン賞の Short List 以上から 42 作品が応募され、2 作品が金賞に輝いた。2021 年 2 月 9～14 日の期間 GOOD DESIGN Marunouchi において「日本空間デザイン賞 2020 展」が開催され、KUKAN OF THE YEAR から銅賞までの作品展示、KUKAN OF THE YEAR 受賞者によるオンライントークイベントが行われた。

2021 年 3 月 9～12 日開催の JAPAN SHOP でも同様の受賞作品の展示を行った。

9 月 10～11 日初の試みとなる「デザインツーリズム視察ツアー」が JCD、DSA 有志 11 名で行われた。KUKAN OF THE YEAR 受賞作品、未来コンビニ、上勝ゼロ・ウェイストセンターを視察し、良きデザイン・空間を感じ考えることを目的としている。この活動は今後大きく広げたい。

② Soda 委員会（委員長：新藤 力）

年度の初め学校の状況を伺うと、運動会・プール授業・移動教室の実施など都内半数以上の小学校が制限緩和の方向にあるとのことでした。逆に「活動はされているのですか?」とのお問い合わせをいただきました。

1. 東京ミッドタウン・キッズワークショップ 2022

8/15(月)、16(火)の 2 日間、(財)日本デザイン振興会主催の「東京ミッドタウン・キッズワークショップ 2022」に参加。今年で 7 年目となりますが、すっかり人気のワークショップとなりました。両日で 15 組の親子が参加、低学年の参加が多いのが特徴です。みんな作りたいたいお店のイメージ写真・スケッチ・紙粘土で作った商品などをちゃんと準備をしてくれま

2. 葛飾区立水元小学校「旧校舎ありがとう!!プロジェクト」

「建替えのため取壊しとなる旧校舎に、特別なお別れをしたい。」との相談があり、“実物大の Soda/実寸の空間装飾”を企画いたしました。学校プロジェクトの経験のある DSA さんに協働していただき、8/30(火)私たちと先生たちで準備、9/5(月)午前中の 4 時限、全校児童 603 名とともに旧校舎を装飾する活動をいたしました。校舎の窓ガラスに「ありがとう」のメッセージ、それぞれの教室を「花」「みち」「足あと」「思い出」をテーマに装飾しました。素材は図工室に残っていた不織布・カラービニール・おはながみなどや、JCD 会員の現場で余った水性塗料や木片の端材、賛助会員さんから提供されたタイル・シート類の素材を利用。最後に教室のカーテンをつなぎ合わせて旧校舎に大きなりボンをかけました。子どもたちはみんなアーティストです!!9/10(土)、地域の皆さんや卒業生に学校公開して、みんなの記憶に残るイベントとなりました。※現在パンフレットを作成中。完成後、各支部にも配布いたします。

3. 10/28(金)、東北支部主催/盛岡市立高松小学校(5年生 54名/6年生 61名/特別支援学級 5名対象)にて出前授業を実施。「世界の映画を見ながら食事を楽しめるレストラン」「肉のお寿司屋さん」のようにテーマ設定が明確なものが多く、特別支援学級のみんなも5人それぞれのお店が集まったデパートを作ってくれました。プレゼンテーションで語られたのは「丹念に作りました!!」東北地区の子どもたちはみんなで協働して丹念に制作をするのが特徴です。
 4. 11/19(土)、日本建築学会「子ども教育支援建築会議全体会議・シンポジウム」にて活動報告。今年オンライン4組・リアル6組と活動報告が少なく、私たちの「旧校舎ありがとう!!プロジェクト」に関心が集まりました。
 5. 11/15(火)~12/6(火)、北海道支部主催/札幌市立桑園小学校(6年生 150名対象)にて出前授業を実施。2010年から継続されていて、インターンの学生さんの中には出前授業体験者がいるそうです。
 6. 1/16(木)、沖縄支部主催/浦添市立牧港小学校(6年生 77名対象)にて出前授業を実施。沖縄支部では全島の小学校での開催を目指しています。
- ※2月に予定していました杉並区立浜田山小学校(6年生対象)・葛飾区立水元小学校(3年生対象)の出前授業は、今年度開催が見送られました。

③ シンポジウム委員会 (委員長：飯島直樹)

JCD シンポジウム SECTION63 は、2023年2月6日東京デザインセンターガレリアホールにて、4年ぶりにリアルで開催された。SECTIONの発足時の意義「その時代のデザインクリエイティブの断面(SECTION)を探る」を目指した。インテリア、空間デザイン領域の今までの枠から踏み出す方々、谷尻誠氏(建築・空間デザイン領域/建築家、起業家)、山田能資氏(伝統工芸・アート領域/伊達冠石ディレクター)、泉山墨威氏(都市デザイン領域/都市戦術家)に参加いただき、それぞれの領域から自らジャンプする「越境するクリエイティブ」が語られた。

JCD トーク「タカハシツキイチ」は回を重ね34回目を実行した。34回目のゲストは建築家坂本祐氏。ネクタイスーツ姿で登場の最初のゲストだったが、見かけと裏腹に、アイデンティティを大きく逸脱するデザイン活動が披露された。エルメスのバンドエイドなどユーモアが漂い、自身「ドローグデザイン」の影響を語るなど興味深い回となった。

④ 広報委員会 (委員長：水谷晶人)

1. JCD 広報委員会では、改めて広報委員会の役割を果たす為にコミットする年代、コミットする相手(会員・非会員)に対して JCD が今持っているツール [ウェブサイト、SNS、パンフレット、機関誌等] がどの相手にコミットするのかを整理を行い。その傾向を踏まえた情報発

信及び製作を行う事としました。

2. 昨年刷新したウェブサイト引き続きリンクする形でJCD公式パンフレット刷新をおこないました。
3. メインSNSに据えているFacebookの更新に加えInstagramのフォロワー数増加の施策「デザイナーのオフィス訪問」Instagramライブで進行中

⑤ 国際委員会（委員長：武石正宣）

今年度でコロナ禍もようやく明けそうですが、今年度は海外にリアルに活動する事なく、オンラインでの APSDA の理事会に窪田理事長が参加するのみという状況でした。

またアライアンスから移行している APSDA に関しましては、内規の規定の修正を各国からの意見を聞きながら延々と行う事であったり、初開催した APSDA アワードもアワードの開催が大切で、不透明な進行や大幅に審査員の決定が遅れるなど混乱が見え、JCD として大きく関わることから、距離を置こうという形になった年度でした。

⑥ 賛助委員会（委員長：羽隅斉明）

1. 5月25、26日、産業貿易センター浜松町会館で開催されたバンブーエキスポ、JCDブース内にプロダクト・オブ・ザ・イヤー2021の受賞製品を展示。
2. 10月26日～28日に東京ビッグサイトで開催されたジャパンホーム&ビルディングショー2022、JCDブース内にプロダクト・オブ・ザ・イヤー2021の受賞製品を展示。
3. プロダクト・オブ・ザ・イヤー2022

【概要】

第16回を迎え、前回同様、一次審査と二次審査で開催。冊子からの正会員の投票の一次審査から上位10製品をグランプリ、準グランプリ候補に、サステナブル賞は該当製品の上位5製品を候補とし、各企業によるプレゼンテーションによる二次審査を、10月14日（金）にクラフテックギャラリーにて開催、ライブ配信も実施。

審査員は窪田理事長をはじめ、折原理事、(株)ジंकラモトスタジオ 倉本仁氏、ユミカデザイン 白木ゆみ香氏、日経デザイン編集長の花澤裕二氏の計5名の方へ依頼、外部から3名をむかえての開催となりました。

【応募・一次審査結果】

応募数：46製品（内サステナブル26製品） 投票率44%

■POY 一次審査通過製品・企業

エントリーNo.	製品名	企業名
2202	A FIRE	株式会社マストレ
2203	DNL 細型フレキシブル LED モジュール FXV シリーズ	DN ライティング株式会社
2205	VeroMetal®	株式会社アイチ金属
2209	リッチライト	井上スダレ株式会社
2212	スカンディアモス	and C 株式会社
2213	アルビームインテリア（シームレス照明用 建材・目地照明用建材）	不二サッシ株式会社
2230	KIBAN LIGHT SERIES	株式会社水田製作所
2237	ELPHOS LED-TETRAGON	株式会社 GLORY
2242	and-on アンドオン	株式会社ワイ・エス・エム
2245	UHC2220	株式会社ユニオン

■サステナブル・プロダクト賞 一次審査通過製品・企業 エントリーNo.順

エントリーNo.	製品名	企業名
2206	国産材ウッド・フェンス	四国化成工業株式会社
2209	リッチライト	井上スダレ株式会社
2210	NUNOUS®[ニューノス] スキンフォーウォ ールデコレーション	セイショク株式会社
2212	スカンディアモス	and C 株式会社
2224	内装用モザイクタイル テラクル	株式会社平田タイル

【二次審査結果】

受賞	製品名	企業名
グランプリ	KIBAN LIGHT SERIES	株式会社水田製作所
準グランプリ	DNL 細型フレキシブル LED モジュール FXV シリーズ	DN ライティング株式会社
準グランプリ	and-on アンドオン	株式会社ワイ・エス・エム
サステナブル・プロダクト賞	スカンディアモス	and C 株式会社

グランプリをはじめ受賞製品は、「商店建築」「日経デザイン」へ掲載、表彰式は2023年の賀詞交歓会内で実施。また2月末あらのジャパンショップ2023、JCDブース内で受賞、入賞の上記13製品をジャパンショップ委員会と連携し展示。

⑦ 空間委員会（委員長：谷尻 誠）

空間系4団体（JCD, DSA, SDA, NDF）は、空間演出、商環境、サインデザインを顕彰するデザインアワードを開催する中で、2005年に相互の連携組織「空間デザイン機構」を発足し共同で活動を行ってきた。それらのアワードを記録する「年鑑日本の空間デザイン」が、2022年末に刊行50周年を迎えた。これを記念して、2023年2月17日-25日、東京ミッドタウン・デザインハブにおいて記念展示を開催、田中一光、永井一正、粟津潔、横尾忠則、岡本太郎氏などから最新刊の林琢磨氏に至る50冊の年鑑デザイン実物展示と、各年の贈賞概要パネル50枚、各団体設立以降のアーカイブ年表を展示公開した。合わせて2月17日には併設のリエゾンセンターにおいて橋爪紳也氏の記念公演、記念レセプションが行われた。同時期にJCD, DSA共同主催の「日本空間デザイン賞」の発表展示が開催された（GOOD DESIGN Marunouchi、ジャパンショップ2023）。

⑧ 交流委員会（委員長：折原美紀）

With コロナになっての年明け、新年賀詞交歓会の運営を今年から行うことになり久しぶりのリアル開催を無事に終了致しました。また「世界の今を知ろう。大陸リレー女子会」はしばらく開催できずにおりましたが、またもうひとつの活動「JCD CYCLE」につきましてはすでに、10月26日に今期3回実施し、それぞれサステナビリティデザインについてのトピックスを持ち寄り、情報をシェアしました。また2月22日には「世界の今を知ろう。大陸リレー女子会」と「JCD CYCLE」の合同イベントを開催予定。女子会 Vol.4でオランダ・アムステルダムからご登場頂いた建築家の根津幸子さんを再びゲストにお迎えし、サステナブル先進国の最新事情をお聞きます。

⑨ Japan Shop 2023 JCD ブース実行委員会（委員長：剣持良美）

JAPAN SHOP 2023 JCD ブース実行委員会事業報告

期間：2023年2月28日～3月3日、4日間開催

場所：東京ビッグサイト 東4ホール

動員：来場者は延べ68,500人（JAPAN SHOP/建築建材展/ライティングフェア）

オンラインは延べ86,000人

設計：SOL Style（伊東 裕・剣持良美）

実行：委員長/剣持良美、副委員長/木村倫香・戸矢崎弘美・羽隅斉明・村上 敦

委員/大西 亮・松田好且・奥 俊輔・菊永浩司

施工：(株)ボックスワン

協力：日本経済新聞社

経緯報告

2023年は24コマ、その内6コマ相当分をPOY（プロダクトオブザイヤー）として賛助委員会が負担する形とした。日本経済新聞社のJCD企画に対する評価も高く協力金増額もあり、演出強化、デザイナー紹介冊子等も作成できたのでJCDに対するPR効果は大きいと考える。

- ・2019年 POY 単独出展（4コマ）
- ・2020年 POY 単独出展（8コマ）
- ・2021年 JAPAN SHOP 2021 開催中止
- ・2022年 JCD タカハシツキイチ 30人展+POY（28コマ）
- ・2023年 JCD30人展+POY（24コマ）

展示内容

1) 「今、注目される空間デザイナー30名」正会員30名の作品展示

参加者：東、伊東・剣持、伊藤、井上、浦田、大高、大西、岡部、落合、鬼木、折原、笠原、上垣内、神田、佐竹、佐藤、佐野、座間、高須、丹羽、袴田、深田、長谷川、平綿・渡部、増田、松浦、松本、森井、山中、山本、吉田（敬称略）

※「今、注目される空間デザイナー30名」冊子制作配布

2) 「デザイントーク 15」参加デザイナー15名によるデザイントーク

（15名、各45分間+YouTube配信中）

参加者：東、井上、浦田、大高、大西、岡部、落合、笠原、上垣内、佐竹、高須、丹羽、平綿・渡部、松本、（敬称略）

※JCDの説明：村上敦正会員

ファシリテータ：窪田理事長、小坂副理事長、高橋正明氏

3) 「POY 入選製品 12品展示」

入賞：グランプリ：(株)水田製作所

準グランプリ：(株)ワイ・エム・エス、DNライティング(株)

サステイナブル・プロダクト賞：and C 株式会社

入選：(株)マストレ・(株)アイチ金属・不二サッシ(株)・(株)GLORY・(株)ユニオン
・四国化成工業(株)・セイショク(株)・(株)平田タイル

4) 「POY 受賞製品プレゼンテーション」（4社、各45分間+YouTube配信中）

グランプリ：(株)水田製作所

準グランプリ：(株)ワイ・エム・エス、DNライティング(株)

サステイナブル・プロダクト賞：and C 株式会社

POYの説明：斎藤忍正会員

サステイナブル・プロダクト賞の説明：折原理事

5) 「POY 審査員対談」 (90 分+YouTube 配信中)

審査員対談：窪田理事長・折原理事・白木ゆみ香氏、羽隅斉明執行役員

(2) 支部統括部

(部長：小田秀樹)

(全国支部長会議)

1) 6月28日(火)19時~Zoom会議を開催(10名参加)

- 各支部の今期事業計画の報告
- 11月の北陸支部に集まりリアル全国支部長会議を開催する提案をする。
- リアル支部長会議の経費の予算計上を関係理事に相談するも次年度予算にと回答
(各支部/10万円計上)
- 今期も各支部のデザイン賞のパネル展示に予算を計上の件を議題にした。
(各支部/20万円計上)

2) 9月02日(金)19時~Zoom会議を開催(10名参加)

- 木村北陸支部長より11月18~19日開催のリアル支部長会議の計画を後日受ける。
- 小田支部統括部長から還付金割合の見直案を理事会に提出する事と内容の説明。
- 各支部の活動報告

3) 10月17日(月)18時30分~Zoom会議開催(9名参加)

- *木村北陸支部長より、11月18日~19日のリアル支部長会議の説明をうける。
- *支部還付金の再度説明と総会開催補助金の内容を議題にした。
員増強に対する意見交換をした。

4) 11月18日~19日・北陸支部主催でリアル全国支部長会議&交流・視察会を十数年ぶりに開催し大変充実した2日間を過ごした。

- 16時より富山県民会館で窪田理事長・永井副理事長・支部長9名と関東副支部長2名の総勢14名で木村北陸支部長の挨拶から会議を始めた。
- 窪田理事長・永井副理事長の近況報告と小田支部統括部長より支部還付金の見直提案の草案説明や支部開催セミナー&パネル展の継続開催の提案と会員増強の意見交換とSoda活動の実施に伴う学校へのアプローチ方法や支部会員の活動内容を共有した。
- *懇親会は北陸支部の幹部委員も参加して充実した意見交換ができた。

*19日は12名による富山市内の建築ツアーを市電・徒歩&タクシーを使用して視察
・富岩運河環水公園、富山美術館、富山市ガラス美術館、高志の国文学館、水墨美術館と富山の食文化にも接する事ができた。

5) 2023年2月10日(金)18時30分~Zoom会議(9名参加)

*JCDパンフレットの各支部配布枚数(各支部200部/会員数等で調整あり)

*来期の支部開催イベント「セミナー・学生コンペ・デザイン賞パネル展」等は開催支部をランダムに選定してセミナーは統一テーマを設け内容は各支部に一任する。

*総会開催支部は連番で決まっているが2025年の万博開催なので入替案を説明した。

① 北海道支部(支部長:高橋 恵)

今年度の活動方針

「デザインの必要性和ネットワークの大切さをJCDの活動を通して広めていこう」

・支部の活動が活性化されれば自ずと会員増強につながります。

参加してもらえる声かけや横のつながり、他団体との交流などコロナ禍に負けず地方でもデザインを通して地域の活性化を目指していきたいです。

令和4年度定時総会前夜祭

【日程】令和4年5月27日 夜空のジンギスカン 総勢44名参加

残念ながら悪天候にて 前日ゴルフコンペは中止になりましたが

前夜祭は、ジンギスカンを食べ、2次会、3次会と大いに盛り上がりました。

令和4年度定時総会・臨時理事会・臨時総会・懇親会

【日程】令和4年5月28日 ジャスマックプラザにて

総勢73名の参加を頂きました。本当にありがとうございました。コロナ禍で開催す直前まで決まらずまた延期かも?という雰囲気の中理事の皆様が北海道での開催を後押ししてくださり無事に開催することができました。リアルってやっぱりいいよね。と認識できた時間でした。本当に皆様に感謝申し上げます。

運営会議

【日程】 9月28日

総会の打ち上げ、SODAの件打合せ

SODA in 桑園小学校 12歳のデザイナー

【日程】 11月15日火曜日(導入)、11月22日火曜日(模型製作)、12月6日火曜日(プレゼン) 小学6年生170名 JCD12名参加

北海道支部新年会

【日程】 1月19日

新会員の顔あわせを兼ねて久しぶりの新年会を開催しました。 17名参加と多くの方々に集まって頂き来年の計画も話し合いができたのでとても有意義な会になりました。

鍋塾という名の JCD に入って欲しい人 1人以上連れてくる飲み会

【日程】 3月17日

会員増強の為に会に入って欲しいと思っている人を連れてきて飲み会を開催する予定です。同時に事務所の若手飲み会も同じお店で若手のテーブル作って開催しようと思っています。

② 東北支部（支部長：大塚真司）

■日本空間デザイン賞+日本サインデザイン賞 2021 パネル展示会 仙台展

【日程】 4月8日～4月12日 【場所】 東北工業大学一番町ギャラリー

【来場者数】 66名 【概要】 パネル展示

■東北支部総会

【日程】 7月22日 【場所】 仙台市内 正会員13名/賛助会員10名出席

■賛助会員商品 PR 会

【日程】 7月22日 【場所】 仙台市内

【概要】 大光電機・ケイミュー・ビートソニック 3社の新商品説明会を実施

■デザイン勉強会

【日程】 7月22日 【場所】 仙台市内

【概要】 有限会社オガタ 尾形欣一様の作品紹介等

■東北支部ゴルフコンペ

【日程】 7月23日 【場所】 杜の公園 GC 【人数】 7名参加

■パナソニック「ストーンズ仙台オープンイベント インスタライブ」参加

【日程】 8月5日 【場所】 ストーンズ仙台 【参加人数】 正会員4名

■オカムラ商環境事業部 東北プランニングセンター勉強会

【日程】 9月30日 【場所】 オカムラ仙台

【対象】 東北プランニングセンターデザイナー 10名 【講師】 大塚真司支部長

■Soda 出前授業事前説明会

【日程】 10月6日 【場所】 盛岡市立高松小学校

【概要】 Soda について生徒へ事前説明とテーマ決定

【人数】 浅川洋副支部長・事務局

■Soda 出前授業

【日程】 10月27日 【場所】 盛岡市立高松小学校5・6年合同124名

【講師】 29名参加

■日本空間デザイン賞+日本サインデザイン賞2022パネル展示会 仙台展

【日程】 12月9日～12月13日 【場所】 東北工業大学一番町ギャラリー

【来場者数】 138名（団体関連33名・学生63名・一般42名）

【概要】 パネル展示

■東北支部役員会

【日程】 2023年2月22日 【場所】 アルコア事務所

※今期は3年ぶりにリアルで総会を開催し、賛助会員のPR会・デザイン勉強会・懇親会・ゴルフコンペ・Soda、デザイン賞パネル展示会等を開催した。全体的にコロナ前の約7割程度の活動は出来ましたが、参加者がまだまだ不足しています。来期は正会員、賛助会員の出席率を上げ、本来の活動状況に戻していきたいと思います。

③ 関東支部（支部長：木村倫香）

■研究セミナー委員会：福田裕治委員長、石橋美幸副委員長、下村牧子副委員長

2022年11月22日 とくトーク開催（登壇者 笠原恵理子 深田勝也）

先期より議題に上がっておりました『のれん会』とのコラボが実現し、第1回目は新興プラスチック様のショールームをお借りし開催できました。

活動を振り返って→期の前半に登壇を予定していたアルテリアの羽田会長の開催が伸び、またコロナ患者の増加もあり1回の開催となってしまった。

今年度は登壇者等の選定から検討しなおしていく必要がある。

■支部賛助委員会：品川正之委員長、原康喜副委員長、松田好且副委員長、藤原巧副委員長、棟方義雅副委員長、藤光祐副委員長

・今年度の支部賛助委員会は5月23日(火)、9月28日(水)、12月12日(月)、2月10日(金)の計4回行った。(12月の委員会は正副委員長会議との合同会議。)

・交流を促進するための恒例の親睦イベントを企画した。

○熱海船上花火会を8月26日(金)真鶴港～熱海沖にて、参加者20名により開催。

○BBQ会を11月5日(土)都立新木場公園にて、参加者24名により行った。

○ボーリング会を3月20日(月)に笹塚ボールにて行った。

・BAMBOO EXPO 2022 開催に際し搬入、搬出撤去、備品提供、POY 受賞作品展示等協力。

・” JCD CYCLE” 活動について折原氏から説明を受け協力要請に答えることとした。

・JCD60 周年記念セミナー開催に際し各自役割分担し協力した。

・関東支部ホームページに賛助企業ショールームマップを掲載した。

- ・トークと共催でのれん会を実施した。(深田氏、笠原氏による冠婚葬祭施設の解説)
- ・ユーチューブのれん会に賛助企業の情報を追加掲載した。
- ・JCD デザインアワードの開催に協力した。

■広報委員会：大滝道晴委員長

- 1)機関誌の発行は年3回、各20ページ立て4c印刷900部発行
- 2)一回目(7月末発行)60周年セミナー・総会特集・バンブーエキスポ・SODA委員会報告
・会員近況報告・新人会員紹介など
- 3)二回目 休刊
- 4)三回目 未定

■メディア委員会：水谷晶人委員長、中村茂雄副委員長

- 1)「JCD関東支部ホームページ」の関東支部会員変更による更新作業を行った。
- 2) 関東支部賛助会員変更による更新作業をおこなった。
- 3) 新しく関東支部ウェブサイトへ賛助会員企業マップの導入を行った。

■交流委員会：折原美紀委員長、村上敦副委員長

2022年下期事業報告

- ・本部事業「JCD CYCLE 活動」と合同で月一回の勉強会を3回目の実施(10月26日実施)
- ・交流パーティーを3年ぶりに3/27に開催予定。久しぶりの通常開催ですので皆さんに楽しんでいただくように精一杯運営致します。
- ・各関東支部イベントのフォロー等

■特別委員会：星明臣委員長、香野明穂副委員長、山岸布美副委員長

当委員会の主業務は、研修旅行の企画～実施です。

過去2年間は、コロナ禍で活動できませんでしたが、本年度は、3月21日～23日、「長崎・五島列島」への研修旅行を、15名の会員を募って 実施いたします。

④ 北陸支部(支部長：木村嘉秀)

●6月22日 支部会議 「来年度の総会について 2023.5.26～28」

●8月11日 懇親登山 立山山麓登山

メンバー3名と家族で日帰り登山を楽しんできました。

●9月27～29日 3DAYS 合同インターンシップ→中止

コロナもあり日程を3日に短縮しましたが、日程が悪かったのか応募なし。

●11月5日 中国支部、四国支部 懇親会(金沢)

中国支部16名(賛助含む)、四国支部2名と金沢にて懇親会開催

会場：酒屋 彌三郎

北陸支部 10 名参加

●11 月 18. 19 日 支部長会議 IN 北陸

岩瀬の増田酒造見学

リアル支部長会議開催 会場：富山県民会館

懇親会開催 会場：人情居酒屋 だい人

市内の建築・デザインツアー実施（別紙参照）

●12 月 19 日 JCD 北陸忘年会

会場：旬菜と串 あんぽんたん 9 名参加

令和 5 年

●2 月 4 日 空間デザインフォーラム（石川）

SDA 諸事情により不参加 JCD と DSA にて開催

ゲスト 吉泉聡氏 渡邊淳氏

会場：石川県立美術館

●R5 年 1 月～4 月

毎月総会に向けてミーティングをしています。

メンバー間での繋がりも太くなってきて、仲間意識が大きくなってきました。

⑤ 中部支部（支部長：鳥居佳則）

5 月 5/12 支部会議（Zoom 7 名）

- ・小規模トークセッション開催企画について
- ・「SASHIDE」をテーマに一对一の対談を SNS で配信提案
- ・支部総会について屋外ビアパーティーでの開催提案

5/26～28 札幌支部定時総会開催出席（鳥居）5/27, 28（神谷）

6 月 中部支部総会のイベントとしてアワード贈賞式をリアル開催提案（加藤吉宏、鳥居）

7 月 「橋本夕紀夫を偲ぶ会」自主出席（加藤和雄、丹羽、神谷、鳥居）

9 月 中部総会開催場所視察フシミルーフトップビヤガーデン（不破、小関、神田、
鳥居）

結果環境問題からビヤガーデンを断念し「世界のやむちゃん錦本町通店」を会場に

10 月 10/21, 22 本部定例理事会、日本空間デザイン賞贈賞式出席（鳥居）

10/25 中部支部総会・第 5 回「中部商空間賞」リアル贈賞式・懇親会開催（35 名）

11 月 11/18 支部会議（Zoom 6 名）

- ・デザイントリプレックス 19 について

支部長会（富山）11/18, 19 コロナ感染により参加断念（鳥居）

第3回「中部商空間賞」学生部門応募開始

11/22 デザイントリプレックス 19 リアル会議(JCD 4名)

12月 12/1 支部会議 (Zoom5名)

・デザイントリプレックス 19 について

12/8、22 デザイントリプレックス 19 リアル会議出席 (JCD 4名)

1月 1/14, 15 中国支部デザインデイズイン岡山に参加(鳥居)

「中部商空間賞」一般部門応募開始

1/25～30 デザイントリプレックス 19 リアル開催(ホスト JCD 中部)

・日本空間デザイン賞パネル展示/国際デザインセンター

・1/25 シンポジウムリアル開催/なごのキャンパス (70名)

話題の OHAGI3 を運営するホリデイズ落合裕一氏による講演

・1/25 懇親会/なごのキャンパスカフェ「yoake」でたこ焼きパーティー(30名)

2月 2/10 支部長会議 (zoom) 参加

・支部長会開催について

3月 3/4 支部長会議リアル参加予定 (鳥居)

3/17 第1回デザイントークセッション「SASHIDE」開催予定(大藪 OB/丹羽)

⑥ 関西支部 (支部長：中村裕輔)

■USD-0 大阪デザイン団体連合との取り組み (万博委員会)

■関西支部・各員会の合同委員会の実施 (月1回)

■機関紙「JCD kansai」の発刊

5月9日～5月21日 2021日本空間デザイン賞大阪展の開催

大阪デザインセンターにて DSA 共催にて開催。

10月5日 60th 関西支部セミナーの開催

「そもそも大阪デザインてなんやねん？」

大阪デザインを紐解きながら地方のエリアデザインを模索。

本部から窪田理事長、飯島理事がコメンテーターとして参加。

11月12日 関西学生シンポジウムへの参加

ID 主催 USD-0 共済 齊藤委員長が学生プレゼンのコメンテーター、

中村が「デザインプロセス」で講演。

12月14日 クリスマスイベント&賛助会員新商品発表会

ENDO 照明 SR にて 4年ぶりのリアルイベントを開催。60名の参加。

1月10日～20日 絵馬展の開催

大阪デザインセンターにて DSA 共催にて開催。

チャリティ寄付金約 9 万円。

1 月 大阪市商店会総連盟主催 大阪市あきないグランプリ表彰式

JCD 賞の表彰

2 月 17 日 2023 空間プロデュー展 出展

Mebic 主催で大阪産業創造館にて開催。来場者 420 名。

2 月 18 日 修成建設専門学校 教育課程編成委員会（卒計審査）

⑦ 中国支部（支部長：藤坂浩匡）

令和 4 年度は、「全国の JCD メンバーとの交流から商空間デザインのレベルアップへ」を活動方針として活動してまいりました。中国支部メンバーで 60th 記念式典・祝賀パーティー、北海道での定時総会、デザイン旅行では北陸支部と交流をし、多くのメンバーが積極的に参加する事ができ、全国の JCD メンバーとの交流を深める事ができました。毎年恒例のデザインデイズは岡山で開催し、新たな学校との繋がりが出来ました。そして 2 日間に渡る岡山開催で「岡山」に JCD のブランドが発信出来たと感じました。また、正会員 3 名、賛助会員 5 社と増強を図る事が出来ました。次年度は新しいメンバーと共に更に一致団結して JCD 活動を活性化させていきたいと思っております。

4 年度事業内容

- 組織改革・・・若手正会員の増強（3 名）、支部賛助会員の増強（5 社）退会（1 名）
- 例会活動

令和 4 年 4 月 22 日（岡山）参加者：正会員 11 名、賛助会員 18 名
ミニセミナー：無し 懇親会：18 名
令和 4 年 6 月 24 日（福山）参加者：正会員 10 名、賛助会員 15 名 オブザーブ 2 名
ミニセミナー：(株) サンワカンパニー 懇親会：20 名
令和 4 年 8 月 19 日（広島）参加者：正会員 7 名、賛助会員 12 名 オブザーブ 1 名
ミニセミナー：大光電機（株） 懇親会：コロナ第 7 波のため中止
令和 4 年 10 月 14 日（岡山）参加者：正会員 10 名、賛助会員 20 名
ミニセミナー：リビエラ（株） 懇親会：23 名
令和 4 年 12 月 16 日（福山）参加者：正会員 11 名、賛助会員 15 名
ミニセミナー：(株) サンゲツ 懇親会：22 名
令和 4 年 2 月 17 日（広島）参加者：正会員 13 名、賛助会員 16 名 オブザーブ 2 名
ミニセミナー：ソリュート（株） 懇親会：25 名

* 全例会にて、正会員の近況報告と賛助会員 PR タイムを設ける

- 中国支部デザイン研修旅行「金沢の建築とアートを巡る旅」

令和 4 年 11 月 5 日～6 日 参加者：正会員 10 名、賛助会員 7 名 夜は北陸支部と懇親会

●地域活動

令和5年1月4日～5日「第17回JCD中国支部デザインデイズ IN 岡山」を開催。
岡山開催に当たり、新たな大学の学生達に協力を頂き「学生デザインリーグ」を開催。
大人も学生も刺激の多き二日間となりました。
基調講演では関東支部より笠原英里子氏、折原美紀氏を招き、【私たちのデザイン「昨日と今日と明日」】と題し90分間の素晴らしい公演を頂きました。
参加者は一般参加も含め108名となり、岡山にJCDブランド発信が出来たと思います。

⑧ 四国支部（支部長：日下大祐）

今年度は上期に香川県他団体合同で60周年記念事業リアルイベントを開催し、他団体、他業界との合同企画参加等、下期にはリアルにて他支部イベントに参加させて頂き交流、活性化ができました。また、下期に道後ツアー愛媛会員との久々の交流、3年ぶりにTOTOさま企業セミナー等をリアル開催できました。次年度に向けての支部活性化の大きな足がかりが出来たと思います

- 4月 60周年記念事業リアルイベント（他団体合同四国デザインフュージョン）
を開催 4/26～5/29迄
- 5月、北海道定時総会 支部5名出席
- 6月、支部例会開催 レストランミケイラ
四国デザインフュージョン5団体合同交流会開催
- 9月、日本空間デザイン賞 デザイン・ツーリズム視察ツアー in 徳島
支部2名参加
- 11月 中国支部さまのデザインツアー「金沢の建築とアートを巡る旅」参加
四国支部秋の松山アートツアー開催、全国支部長リアル会議富山出席
- 12月、支部例会 香川県他4団体合同懇親会開催
- 1月、賀詞交換会 寒川副支部長出席
- 2月、屋島山上施設「やしまーる」にてTOTOデザインセミナー、
支部例会開催
- 4月 支部例会（花見）多度津町ツアー開催予定

⑨ 九州支部（支部長：深町俊彦）

(1)業務委員会

○月例会の開催（毎月第三金曜日/大光電機会議室 or ZOOM 使用）

毎月開催の月例会ですが、例年通り賛助会員にも参加いただき、ZOOM 開催、リアル開

催と併用で開催しました。

運営会議の冒頭に商品 PR や企業セミナーなどを行いました。

月例会終了後に参加者を集い懇親会を行う事が出来ました。

○SODA 活動の開催

九州支部は NPO 法人 FDL(福岡市を中心とした、デザインを活用した地域振興を主とした目的とした各デザイン団体、個人で構成)でスクールキャラバンを開催していましたが本年もコロナ禍の影響が続く中で、開催はできませんでした。

デザインスクールキャラバンの今後の取り組み等の協議継続中です。

その様な中、筑紫野市の教育長への面談を行い、今後 筑紫野市のいずれかの小学校での SODA の取り組みができるよう今後協議をしていく旨の話ができました。

また、福岡市の科学館への働きかけも行い、小学生対象で科学とデザインの括りで何か出来ないかと協議を始めました。

○FUKUOKA デザインリーグ運営会議の参加

FUKUOKA デザインリーグの団体会員として運営会議に毎月 ZOOMor リアルで参加し、これからの取り組みや今後のあり方などについて意見交換をしました。

リーグも法人化をして15年となり、FDL の今後の方向性の協議が継続中です。

JCD 九州との今後の関わり方など支部内で検討しています。

○日本空間デザイン賞・パネル展

福岡市美術館にて開催しました。2023.1.17(火)～1.22(日)

日本空間デザイン賞と日本サインデザイン賞の共同開催として行いました。

DSA と調整後、SDA との共同開催で九州の3団体での開催でした。

450名余りの来場がありました。

(2) 交流委員会

○鹿児島に新に、面白い施設の運営も行っている正会員が出来ました。

鹿児島デザインツアーを行いました。(12月)

鹿児島にて開催出来ないかと、九州支部の事業の協議を鹿児島のメンバーと協議を始めました。※現在協議中

○各種セミナー参加

賛助会員の各種イベントやセミナー(主に ZOOM 開催)に参加しました。

賛助会員・サンワカンパニーショールームにてミニセミナー開催(3月)

○ゴルフコンペの開催

2月に第一回九州支部ゴルフコンペを行いました。

賛助会員にも参加して頂き、今後定例化していきます。

○忘年会・新年会の開催

忘年会は賛助会員にも沢山参加いただき30人の参加により、盛大に盛り上がりました。会員間のコミュニケーションも深まり、情報共有とモチベーションを上げる大変良い宴となりました。

(3)広報委員会

○支部ホームページやFacebook・Instagramを運営しています。

ホームページやFacebook・Instagramを活用しJCDの知名度拡大や会員増強のためにも、SNS発信を積極的に行っていますが、まだまだ運営方法など模索中です。

<総評>

本年度も昨年に引き続き、新たな事業展開をどのように盛り上げ、正会員増につなげていくかを協議する機会が増え参加メンバーの意識が良い方向に行き共有していくことができました。

その他の交流活動は毎月、例会のZOOM or リアル開催が定例化していますので、参加者を増やし、良いコミュニティの場なるように、今後も継続して行いたいと思います。

広報活動のSNS運営などは、まだまだ検討改善部分が沢山あり、今後も充実の内容を発信していける様に取り組みます。

また、JCD-kyushuのフェースブックのページの充実を図っていきます。

会員数は思う様に増えていませんが、皆で充実した事業を行い、正会員増の取組みを共有できるメンバーが増えていく流れが出来つつあるように思われます。

毎月の協議会の参加者は確実に増えていきますので、会員数は思う様に増えていませんが、今後に期待をし、会員数をふやす取組みにも力を入れていきます。

⑩ 沖縄支部（支部長：山里健市）

R4年4月 ◇支部定例会の開催。

◇定例理事会・定時総会への参加（沖縄支部 1名）

6月 ◇支部定例会の開催 各委員会報告

◇支部長会議（ZOOM）参加

8月 ◇支部定例会の開催 各委員会報告

◇JCD 沖縄 空間デザイン 2019+沖縄支部会員のパネル展を開催

会期：8月1日～9月30日

◇パネル展 交流会の開催

10月 ◇支部定例会の開催 各委員会報告

◇理事会へ出席

11月 ◇支部長会議へ出席。

- 1 2月 ◇支部定例会の開催
◇忘年会の開催
- 2月 ◇支部定例会の開催
◇浦添市立 牧港小学校 6 年生 77 名 へ SODA 開催
- 3月 ◇定例理事会

総 評

コロナの影響も限定的になってきた中、夏の BBQ は開催断念となりましたが、冬の忘年会は無事 開催することが出来ました。インテリアコーディネーター協会や 各メーカー等 6 2名の参加者と共に コロナ渦のうっぷんを晴らすような素晴らしい忘年会となりました。その席にて 正会員 2 名の入会も承諾頂けました。

牧港小学校 6 年生を対象に 3 年ぶりの SODA 開催が出来ました。

従来はインテリアコーディネーター協会に講師協力を頂きながら行ってきましたが今回新たな試みで 建築・インテリア科の学生 16 人も講師として「教える側の立場」で 子供達とふれあい一緒に製作。学生達にも良い経験になったと思います。

その一方、残念だったのが コロナ期間の代償として 作品を背にした写真撮影の際、マスクを外したくない。という生徒が数名いて 日常に戻る日が来るか心配になりました。

(3) 総務部 (部長：太細 通)

① 財務委員会 (委員長：太細 通)

今年度の事業活動収入合計は、昨年度に比べ会費収入では正会員は約 11 万円、0.7%の減収でしたが、賛助会員は全国、支部あわせて約 104 万円、6.7%の増収となり、合わせた会費収入は約 93 万円、2.9%の増収となりました。また事業収入は、前年度の JapanShop2021 で新たに JCD ブースを新設しましたが、主催者の日経新聞社から協賛いただき 451 万円増収、3 年ぶりにリアル開催した総会と賀詞交歓会の参加費で合計約 296 万円増収、事業活性化により、講習会、研究会参加料等で合わせて約 214 万円増収になりました。しかし設計奨励事業は 4 回目の DSA と統合しました日本空間デザイン賞の応募数減により、昨年度より約 215 万円、18.6%と大幅な減収、前年の 60 周年記念事業費のうち 3 支部セミナーが 2022 にずれ込んだため 199 万円減収、企業奨励事業収入が 99 万円減収となりました。結果、他の事業との合計での事業収入は約 419 万円、28.2%の増収になりました。またコロナ禍の給付金等で雑収入が約 120 万円あり、事業活動収入は合計で 5,812 万円と昨年度から約 577 万円、11%の増収、予算に対しては 6.5%増収になりました。

事業費支出の主だった項目は、設計奨励費が 733 万円、新規に JCD 独自の展示ブースを設けました Japan Shop 等の展示会費が 654 万円、今年度に繰り延べた 60 周年記念事業費が 275 万円、リアル開催しました総会費が 252 万円、広報費が 192 万円、徐々にリアル開催を始めました講習会費が 149 万円、企業奨励費が 130 万円、研究会費が 129 万円、等でした。結果事業費合計は 3,667 万円、昨年度より約 100 万円、2.8%増、予算よりは約 97 万円、2.6%減でした。また管理費支出では、今年度は北海道でのリアル定例理事会・定時総会の開催により旅費交通費が大幅に増になり、管理費計は昨年度より約 188 万円、14.7%増、予算よりは約 121 万円、7.6%減の 1,473 万円になりました。結果事業費と管理費を合わせた事業活動支出合計は昨年度決算額より 288 万円、約 5.9%増、予算に対しては約 218 万円、4.1%減の 5,140 万円となりました。

以上より、収支差額は前年度決算額より約 289 万円増、予算よりは 573 万円増の約 672 万円の黒字を確保できました。昨年度より大幅に収支差額が増加したのは、前年度に 60 周年記念事業がほぼ完了し、今年度に繰延べたのが 3 支部のセミナーにとどまったためです。

本部及び 10 支部を個別にみますと、本部と 6 支部は黒字を確保できました。北海道支部約 4.0 万円、東北支部約 20.0 万円、中国支部約 4.7 万円と 3 支部は若干の赤字になりました。四国支部は約 70.0 万円と大幅な赤字になりましたが、60 周年記念事業、研究会や研修会等の事業活動、及び会議や旅費交通等の事業活性化によるものですが、赤字 4 支部とも繰越収支差額で十分カバーできています。

まだ本部、10 支部とも次期繰越収支差額に十分余裕がありますので、本協会の社会的地位の向上や会員獲得に役立つ活動への活用をよろしくお願いいたします。

一般社団法人への移行 10 年度目でしたが、徐々にリアルに活動を行えるようになり、JCD の社会的地位の向上に役立ったと思いますし、その上での黒字と良い結果となりました。

② 功労者選考委員会（委員長：星 明臣）

各支部長等より、功労賞候補会員の推薦を受け、メール等で委員間の意見交換・検討を重ね、以下の候補会員を令和 4 年度第 2 回臨時理事会に推挙し、承認されました。

1) JCD 特別功労賞

加藤 博正正会員（関東支部）

2) 支部功労賞

中山 真琴正会員（北海道支部）

田中 利徳正会員（四国支部）

建設事業関係功労者表彰（「国交省大臣表彰」と略）

昨年度は、大塚 真司会員（理事/デザイン賞委員長）が大臣表彰の栄に浴しました。

令和5年度は、小坂 竜会員（理事/副理事長）を推挙・申請しております。

「国交省大臣表彰」については、候補者申請を継続していきます。

3. その他会務に関する事項

（1）会務などの状況

総会（2回）

令和4年度定時総会

期日：令和4年5月28日 会場：ジャスマックプラザホテル5F ザナドゥ

社員出席：256（内委任状51、議決権行使147）名

令和4年度第1回臨時総会

期日：令和4年5月28日 会場：ジャスマックプラザホテル5F ザナドゥ

社員出席：256（内委任状51、議決権行使147）名

理事会（4回）

第1回定例理事会 期日：令和4年5月28日

会場：ジャスマックプラザホテル6F ポセイドン

出席理事：24名

第1回臨時理事会 期日：令和4年5月28日

会場：ジャスマックプラザホテル2F ミューズ

出席理事：23名

第2回定例理事会 期日：令和4年10月22日 会場：東京デザインセンター8F

出席理事：22名

第2回臨時理事会 期日：令和5年3月4日 会場：東京デザインセンター8F

出席理事：23名

（2）関係団体や機関との交流、事業への協賛など

空間デザイン機構（(公社)日本サインデザイン協会、(一社)日本空間デザイン協会、(一社)日本ディスプレイ業団体連合会と共同）において、活動に担当を派遣した。また、日本インテリアデザイナー協会「World Interior Week 2022 in Japan」、商業施設技術団体連合会「第20回主張する「みせ」学生デザインコンペ」、日本サインデザイン

協会「第 57 回日本サインデザイン賞」、ビジネスガイド社「第 95 回東京インターナショナル・ギフトショー春 2023」、「第 95 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2023 第 13 回 LIFE×DESIGN」、修成建設専門学校「卒業展 2023」、ライティングオブジェ 2022 等への後援や、日本経済新聞社「JAPAN SHOP 2023」「建築・建材展 2023」、日本能率協会「Japan Home & Building Show 2022」、日本ショッピングセンター協会「第 47 回全国大会」、近畿屋外広告美術組合連合会「SIGN EXPO 2023（第 38 回広告資機材見本市）」等への協賛を行った。

4. 会員の移動状況

	令和 3 年度期末	年度内増	年度内減	令和 4 年度期末
正 会 員	4 3 5 名	3 5 名	2 8 名	4 4 2 名
賛助会員	2 1 1 社	3 2 社	1 7 社	2 2 6 社
名誉会員	9 名	0 名	2 名	7 名

※名誉会員の大菅満義氏、木曾弘造氏が令和 4 年度にご逝去されました。

5. 正会員の資格喪失に関する事項

定款第 9 条（資格の喪失）による、本年度の正会員資格喪失者は次の 28 名である。

・退会申し出による者 19 名

（北海道支部） 羽豆啓仁

（関東支部） 岡林里依、佐川安信、佐々木啓資、高桑千穂、谷 昌広、藤原正寿、前田利昭、森田雅美

（中部支部） 大藪由紀夫、西川せいじ

（関西支部） 荒畑 肇、岡島 昇、久保田博文、横山和夫

（中国支部） 河口佳介、長田沙矢香

（九州支部） 石塚泰造

（沖縄支部） 仲里留美子

・死亡による者 5名

(関東支部) 竹内良幸、古川紳太

(中部支部) 山田弘之

(関西支部) 足立和夫、野井成正

・会費未納による者 4名

(北海道支部) 塩貝友崇

(関東支部) 濱野裕司、見杉亮誠

(九州支部) 高良年彦